

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和元年度病害虫防除情報第8号

各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

暖冬のためスクミリンゴガイの発生が平年より多くなると予想されます。

- 1 作物名 早期水稻
- 2 病害虫名 スクミリンゴガイ

3 春期の発生予想

- (1) スクミリンゴガイ（図1）は寒さに弱いため、越冬時に多くの個体が死亡する。暖冬の場合は生存率が高く、移植後に多発する傾向がある。
- (2) 令和元年12月から翌2年2月の平均気温は過去10年間で最も高く（図2）、さらに今後1か月は気温の高い確率が70%と予報されており（3月12日鹿児島地方気象台発表1か月予報）、本種による被害が多発すると予想される。



図1 スクミリンゴガイ

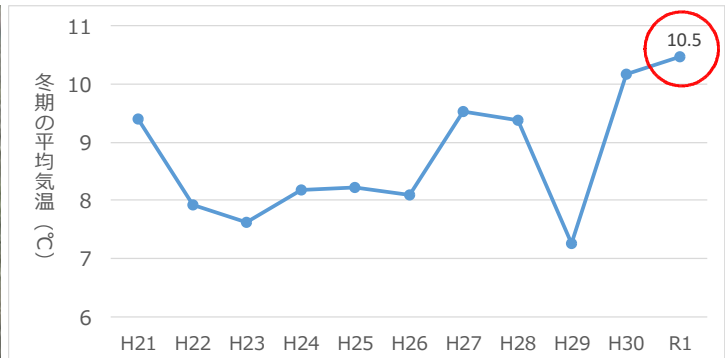


図2 各年度の12月から2月の平均気温

4 防除上の注意

- (1) スクミリンゴガイによる水稻の被害は深水状態であるほど食害が激しいので、活着後はできるだけ浅水管理する。
- (2) 水田や水路の貝は捕殺し、卵は捕殺または水中に落とす。貝に寄生虫が感染している可能性があるため、ゴム又はビニール手袋を使用する。
- (3) 水路からの侵入を防止するため、水口にネットを設置する。
- (4) 貝の発生が多い場合は、薬剤を湛水散布する（表1参照）。散布にあたっては灌排水に十分注意して、水深が3cm位になるようにし、止水状態とする。薬剤の使用時期や使用方法、使用量など適用条件を守って使用する。

表1 主な本田防除剤

薬剤名	主成分	使用量	使用時期	備考
スクミノン	メタアルデヒド	1～4 kg/10a	収穫60日前まで	殺貝効果
ジャンボたにしくん	メタアルデヒド	1～2 kg/10a	収穫60日前まで	殺貝効果
メタレックスRG粒剤	メタアルデヒド	0.7～1.4kg/10a	移植後、但し収穫90日前まで	殺貝効果
スクミンベイト3	磷酸第二鉄	2～4kg/10a	発生時	殺貝効果
キタジンP	IBP	3～5kg/10a	本田初期	殺貝効果
スクミハンター	チオシクラム	1～2kg/10a	収穫45日前まで	食害防止効果
パダン粒剤4	カルタップ	4kg/10a	収穫30日前まで	食害防止効果

※令和2年3月18日時点登録内容

- ・その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 黒木、松浦
 TEL:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127
 ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>
 E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp